

平成 2 2 年度の科学技術に関する  
予算等の資源配分の方針(案)の概要

平成 2 1 年 6 月 1 9 日

総合科学技術会議

# 平成22年度科学技術予算の目指すべき姿

直面する世界的、国民的課題

気候温暖化など地球規模課題、国際競争の激化、  
加えて金融・経済危機

## 1. 喫緊の最重要政策課題

目指すべき社会の実現に如何なる科学技術が必要か  
という観点から課題を設定し、予算等の資源を重点化

## 2. 上記課題のための基盤的課題

✓基礎研究の強化、✓人材育成、✓知的財産戦略

第3期科学技術基本計画の最終年

→フォローアップを踏まえ目標達成に向けラストスパート

我が国の科学技術が、国際社会の課題解決を先導し、我が国競争力を強化

# 最重要政策課題（その1）

## 1. 我が国の国際的リーダーシップによる**低炭素社会の実現**

### ミッション

温暖化ガス排出削減の**中期目標の達成**に向け、  
科学技術により**環境と経済を両立させながら対応**

・既存技術の普及だけでは目標達成は困難→「環境エネルギー技術革新計画」に示された革新技術の研究開発目標を前倒し、取組の加速化

- ・太陽電池、蓄電池、燃料電池の産学官連携研究拠点整備による加速化
- ・次世代自動車、次世代照明や高効率空調・給湯器、グリーンIT、二酸化炭素回収貯留、原子力発電等の革新技術の開発・普及を強力に推進



太陽光発電



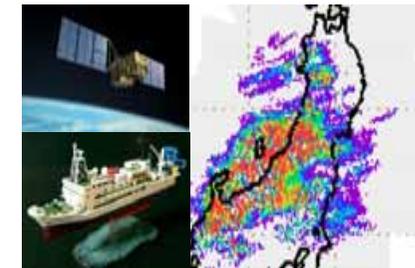
燃料電池自動車

宇宙から海洋まで繋がった革新的地球観測網

・**気候変動適応型社会の実現を目指す**

→適応策に資する技術開発を推進

- ・宇宙から海洋まで繋がった革新的地球観測技術、巨大災害等危機管理技術、ゲノム情報の活用等による画期的品種改良など
- ・次世代ITS、次世代気候予測シミュレーション技術、感染症予防・防御システムなど



# 最重要政策課題（その2）

## 2. 人類の願いである**健康長寿社会の実現**

**ミッション** 我が国の優れたライフサイエンスの成果を、いち早く新しい**医薬品・医療機器等**として実用化し、**経済活性化と国民の福利厚生を向上**

○中長期的ビジョンに立脚した府省一体的な「**健康研究推進戦略**」を踏まえ施策を推進

○早急に取り組むべき課題として、  
・**革新的医薬品・医療機器等の開発を促進**  
・**革新的シーズの発掘に向けた基盤整備**  
・**レギュラトリーサイエンス**  
などを推進

○総合科学技術会議は、本戦略に基づく「平成22年度健康研究概算要求方針」に盛り込むべき施策について、その内容・妥当性を精査・評価し、府省一体的な取組を推進



# 最重要政策課題（その3）

## 3. 世界トップレベルの革新的技術の推進

産業の国際競争力強化、健康な社会構築、日本と世界の安全保障を目標に他国の追従を許さない革新的技術の開発を強力に推進しイノベーションを創出、世界との競争に打ち勝つ

革新的技術推進費の機動的投入により、イノベーション創出を加速



その他、以下の最重要政策課題についても予算等の資源を重点化

## 4. 科学技術外交の推進

ODAと科学技術協力の連携等、科学技術と外交の相乗効果を実現する方策を推進

## 5. 社会還元加速プロジェクトの推進

情報通信技術を用いた道路交通システムの実現、バイオマス資源の総合利活用などの実証研究と制度改革の一体的推進を通して、成果を国民に還元

## 6. 地域科学技術施策の推進

地域の特徴や強みを活かした、多様性のある地域科学技術拠点群の形成、グローバル拠点の強化などにより地域を活性化

# 最重要政策課題のための基盤的課題

国力の源泉である科学技術が将来にわたって発展していくための取組、及び得られた成果が適切に保護・活用される環境の整備を推進

## 1. 基礎研究

独立した若手研究者の育成システムの拡充・改善  
世界トップレベルの研究拠点の拡充、研究教育拠点の裾野の拡大  
長期的・安定的な研究のための競争的資金を拡充

## 2. 人材育成

産業界との連携による実践的・体系的な大学院カリキュラムの開発  
大学院生を教育研究に参加させ自立を促す施策の充実  
魅力ある理数教育の推進

## 3. 知的財産

「知的財産戦略(2009年)」の施策の推進

## 各省・総合科学技術会議による取組等

- ・ 総合科学技術会議が求める各省において実施すべき事項

- 最重要政策課題等や第3期科学技術基本計画のフォローアップを踏まえ、効果的な施策の具体化
- 投資が最大の成果を得るよう、研究資金の質の向上、研究支援環境の改善、必要な財源の確保等に努力

- ・ 総合科学技術会議による取組

府省間・省内の壁を超え、更に省全体を俯瞰した戦略的な予算となるよう各省に働きかけを強化

全体ヒアリング・個別ヒアリングの充実、府省の枠を超えた一体的な取組の推進

- ・ 最先端研究開発支援プログラムとの関係

平成22年度予算は、本プログラムによる研究開発を踏まえつつ、不合理な重複を排除し、科学技術の相乗的な振興が図られるよう執行に努力

→ 世界・人類が直面する課題解決に向け、科学技術への期待・要請に応える